

コースコード：DO-DOFD

税込価格：176,000円 (税抜価格：160,000円)

日数：2日間

## 前提条件

IT用語に精通していること、IT関連の職務経験があることが望ましい。

## 受講対象者

DevOps Foundationコースの対象者は、以下のようなマネジメント、オペレーション、開発者、QAやテストの専門家です。

IT開発、IT運用、ITサービスマネジメントに携わる方

DevOpsの原則の理解を必要とする人

アジャイル・サービス・デザイン環境で働く、またはこれから働こうとしているITプロフェッショナル

次のようなITの役割があります。オートメーション・アーキテクト、アプリケーション・デベロッパー、ビジネス・アナリスト、ビジネス・マネージャー、ビジネス・ステークホルダー、チェンジ・エージェント、コンサルタント、DevOpsコンサルタント、DevOpsエンジニア、インフラ・アーキテクト、インテグレーション・スペシャリスト、ITディレクター、ITマネージャー、ITオペレーション、ITチーム・リーダー、リーン・コーチ、ネットワーク・アドミニストレーター、オペレーション・マネージャー、プロジェクト・マネージャー、リリース・エンジニア、ソフトウェア・デベロッパー、ソフトウェア・テスター/QA、シス

## コース概要

組織はそれぞれの市場で新規参入者に直面しているため、競争力を維持し、年に1、2回ではなく定期的に新製品や更新製品をリリースする必要があります。

DevOps Foundationコースでは、DevOpsの主要な用語を基本的に理解することで、全員が同じ言葉で会話できるようにし、組織の成功をサポートするためのDevOpsのメリットを強調します。

このコースには、ING Bank、Ticketmaster、Capital One、Alaska Air、Target、Fannie Mae、Societe Generale、Disneyなど、業績の高い組織で実際に行われているケーススタディを含む、DevOpsコミュニティの最新の考え方、原則、プラクティスが含まれており、マルチメディアやインタラクティブな演習を活用することで、Gene KimによるPhoenix

Projectで強調されている「3つの道」や、「State of DevOps」や「DevOps Institute Upskilling」の最新レポートなど、学習体験を生き生きとさせることができます。

これは、ソフトウェア開発者とIT運用の専門家間の作業の流れを改善するために、コミュニケーション、コラボレーション、統合、および自動化を重視する文化的・専門的な動きです。

本コースは幅広い層を対象としており、ビジネスサイドの方はマイクロサービスやコンテナについて理解することができます。技術者側は、デジタル・トランスフォーメーション・イニシアチブを支援するために、コスト削減(全体的なITコストを15~25%削減)、品質向上(変更失敗率を50~70%削減)、アジリティ(プロビジョニングとデプロイメントの時間を最大90%削減)を実現し、ビジネス目標をサポートするDevOpsのビジネス価値について理解することができます。

ユニークでエキサイティングなエクササイズは、コースで取り上げられたコンセプトを適用するために使用され、クラスの後に使用するためのサンプルドキュメント、テンプレート、ツール、およびテクニックが提供されます。

この資格は、DevOps Foundation試験を成功させるための学習者を対象としています。



## 目的

DevOps Foundationの学習目標には、以下の理解が含まれています。

DevOpsの目的と語彙

ビジネスとITへのメリット

継続的インテグレーション、継続的デリバリー、テスト、セキュリティ、スリーウェイなどの原則と実践

DevOpsとAgile、Lean、ITSMとの関係

ワークフロー、コミュニケーション、フィードバックループの改善

デプロイメントパイプラインやDevOpsツールチェーンを含む自動化の実践

エンタープライズ向けにDevOpsを拡張する

重要成功要因と重要業績評価指標

実例と結果

## アウトライン

DevOpsの探求

DevOpsの定義

なぜDevOpsが重要なのか？

Core DevOpsの原則

3つの道

第一の道

制約条件の理論



第二の道

第三の道

カオスエンジニアリング

学習する組織

#### キーとなるDevOpsプラクティス

継続的デリバリー

サイト・リライアビリティ & レジリエンス・エンジニアリング

DevSecOps

ChatO

カンバン

#### ビジネスとテクノロジーのフレームワーク

アジャイル

ITSM

リーン

安全文化

学習する組織

ソシオクラシー / ホラクラシー

継続的な資金調達

#### カルチャー、ビヘイビア、オペレーティング・モデル

文化の定義

行動モデル

組織成熟度モデル

対象となるオペレーティング・モデル



## 自動化とDevOpsツールチェーンの構築

CI/CD

クラウド

マイクロサービス/コンテナ

DevOps ツールチェーン

## 測定、測定基準、および報告

メトリクス的重要性

テクニカル・メトリクス

ビジネス・メトリクス

メトリクスの測定と報告

## シェア、シャドウイング、エボリューション

コラボレーション・プラットフォーム

没入型、体験型の学習

DevOpsリーダーシップ

進化する変化

コースの最終日にテストを実施いたします。試験費用は含まれています。

試験は、テキストや資料などの持ち込みが許可されています。試験時間は60分です。

本コースは、該当試験の内容を網羅しています。

DOIの試験は、Kryterion Global Testing Solutionsによって実施されます。

サンプルペーパーと試験は、Foundation v3.10に基づいています。